

【議題②】

＜医師バンクについて＞

本会では、医師バンクを設置していないため、お問い合わせがあった場合には日本医師会等にご案内をしております。

＜女性医師支援の取り組みについて＞

東京には 13 大学の医学部があり、それぞれに医師会が設置されております（1 大学のみ地域の医師会を通じて連携をしております）。

本会は、「次世代医師・女性医師支援委員会」を設置しております。

委員の構成は、各大学において女性医師支援等に携わっております先生に参画いただいております。

それぞれの大学・大学医師会において、さまざまな女性医師支援対策の活動等を報告してもらい、情報の共有をしております。

また、一例であります、J 大学においては「女性医師キャリア支援室」を設置して、女性医師の勤務環境を整備するために短時間勤務制度の導入や病児保育室の設置、セミナーや各種講演会等の開催の活動を行い、さらにワークライフバランスを実現するために、ライフステージにあった支援制度の拡充等についての取り組みを推進しております。

各大学においても、このような女性医師支援の取り組みを実践しております。

【議題③】

・タスク・シフト/シェア導入について

各職種が専門性を発揮できる環境が整い業務全体の効率が向上します。医師や看護師の業務負担が軽減され、過労を防止し、医療の質を保つことができますが、課題として、タスクの移管に際して、職種間での役割分担や責任の明確化と新たな役割を担う職種に対する適切な教育や研修が必要となります。

運営を円滑にするには、多職種が協力し合うチーム医療の体制整備が重要であり、現場の医療従事者の意見を尊重し、実際の業務に即した形での実施が求められるかと思えます。

・男性育休について

医師として、男性育休を取得することは、個人と家族のために非常に有意義ですが、職場との調整や経済的な準備が必要となってきます。制度を十分に理解いただき、周囲の方々と協力・連携しながら計画的に進めることが重要になります。

・シニアドクターの活躍について

シニアドクターは、その豊富な経験と知識、患者さんとの信頼関係など、多くのメリットを持っていますが、体力面の低下や最新技術への対応の難しさといったデメリットが考えられます。

シニアドクターの能力を最大限に活かしながら、若手の医師とのバランスを取ることが、医療現場での成功の鍵になるかと思います。